

第5回現地研修会を開催

— 地域活性化に向けた新たな展開 —

はじめに

道北技術士会では、去る7月6日、第5回現地研修会を開催しましたので、その概要について報告します。

(写真は、本号グラビアページにも掲載しています)

1. 研修日程及び概要

研修には、旭川市、札幌市、留萌市、深川市などから、20名が参加しました。

- (1) 研修会名称：道北技術士会第5回現地研修会
- (2) 日時：2007年（H19）7月6日（金）10：15～17：10
- (3) 場所及び内容
 - ① 旭川トンネル現場見学

講師：旭川道路事務所 第2工事課長
和田 芳明氏
旭川トンネルJV工事事務所 所長
桶谷 強氏
 - ② 意見交換及び昼食会「アグリ工房まあぶ」（深川市）
 - ③ 沼田町「スノークールライスファクトリー」等見学

講師：沼田町地域開発課 研究員 伊藤 勲氏
沼田町農業振興課 主査 瀧本 周三氏
 - ④ 秩父別町 滞在型体験農場「なつみの里」・「ローズガーデン」・「めえめえランド」見学

講師：秩父別町産業振興課 課長 蓑口 隆則氏

2. 旭川トンネル現場見学

旭川トンネルは、一般国道12号から旭川新道へ入る札幌側分岐点に位置するセパレートトンネルで現在下り車線トンネルは対面交通で供用されており、



トンネル入口前での和田氏の説明

上り車線トンネルの掘削工事について現場見学を行った。

特徴として火山灰などを主体とした土砂系地山において既設国道及び住宅地の直下を掘削するため、その影響回避から、変位計測による監視や攪拌混合処理などの地盤改良を先に行ってから掘削しているところである。

実際に切羽部まで入り見学をすることができ、その地質状況や、現地状況に合せいろいろな工法を組み合せながら施工を行ったことや、各工程が実際に確認できたことなど有意義な見学になった。

3. 沼田町「スノークールライスファクトリー」「雪山」「しいたけ栽培施設」等見学

沼田町は、雪と共生するまちづくりを行っていて、雪を冷房エネルギーとして活用し、いろいろな施設において多面的に利用している。

ライスファクトリーは、貯蔵された粳2,500tを雪冷房により4月中旬から8月中旬まで温度5℃湿度70%を保ちながら出荷できる施設であり、雪貯蔵室内には見学当日においても雪が残っていました



雪を使った米の貯蔵について瀧本氏の説明

が、今年は例年になく需要が順調で粳の在庫が無くなったとの事でした。

雪山は、町内で発生する排雪を利用し屋外に雪山を作り、被覆材（木材チップ材）で覆うことで、夏まで冷水や雪を直接配送し冷熱供給を行うプロジェクトで、試験的にしいたけ栽培施設に利用しています。



雪山の前で伊藤氏の説明

4. 秩父別町 滞在型体験農場「なつみの里」・「ローズガーデン」・「めえめえランド」見学

秩父別町では、都市住民との交流を通して地域振興をはかるために、滞在型の体験農園である～なつみの里を整備し、耕作することを条件に20棟の受入れを行っていて、遠く本州からも来ているとのこと。

ローズガーデン・めえめえランドは、深川留萌自動車道から直接利用でき、300種のバラがちょうど見ごろでありすばらしい庭園風景であることと、い



「なつみの里」について養口氏の説明

ろいろな品種の羊が飼育されていて、大人から子供まで楽しめる施設となっています。また、暑い日でしたので、バラ城で食べたソフトクリームは格別でした。

5. 参加者名簿

鍛冶 鐵夫	(株)イズムグリーン
菊田 初夫	(株)コンストラクションサポート
菅野 哲朗	(株)アサヒ建設コンサルタント
鈴木 孝善	(株)アサヒ建設コンサルタント
和田 達哉	(株)アークス山上
遠藤 優	新谷建設(株)
加藤 範幸	(株)三幸測量設計社
寺西 輝芳	旭川設計測量(株)
山田 哲	(株)ルーラルエンジニア
峯村 伸哉	峯村技術士事務所
荒口 誠	(株)三幸測量設計社
久野 卓也	五大建設コンサルタント(株)
袴田 勝雄	(株)日興ジオテック
三上 昌介	(株)イズムグリーン
菅原 敏明	北海道農業土木コンサルタント(株)
佐藤 進	(株)アサヒ建設コンサルタント
安部 義文	(株)アサヒ建設コンサルタント
加藤 亮治	(株)アサヒ建設コンサルタント
大井 隆宏	(株)三幸測量設計社
加藤 泰幸	(株)三幸測量設計社

おわりに

過去4回の現地研修会の開催は、旭川近郊で行っていたのですが、今回は少し足を伸ばし北空知方面での見学であり、今までと違ったバラエティーにとんだ見学になったと思います。

最後に、見学に協力頂いた各関係機関の方々にお礼を申し上げ、ご報告とします。

(文責：道北技術士会 会長 菅野 哲朗)